

「科学技術政策特論」講義案内

履修予定の有無に関わらず、学部生、文系、さらに教員の方のご聴講も歓迎いたします



平成26年
4月11日(金)

5 講目
16:30-18:00



工学研究院
オープンホール
[B-201]

第2回

東日本大震災からの復旧・復興

復興庁 参事官
笹森 秀樹

笹森先生からのメッセージ

2011年3月11日、三陸沖でマグニチュード9.0の我が国観測史上最大規模の地震が発生しました。この東日本大震災から、3月11日で丸三年を迎えました。この震災は、地震、津波、原発事故による複合的な災害であり、その復興は長期間を要する取組です。

この復興を成し遂げるためには、防潮堤の高さを決める海岸工学の知識、堤防や道路を整備する幅広い土木工学、建築工学の知識、住民の皆様と行政が合意形成を図るパブリックインボルブメントの知識、まちづくりをはじめとする都市計画の知識、土地取引や収用制度等、各種法制度の知識が必要です。

復興庁は、関係省庁、関係機関の協力を得て、政府挙げて復旧・復興に取り組んでいます。現時点における取組をご紹介します。



笹森 秀樹 先生

1984年3月東北大学工学部土木工学科を卒業され、同年建設省入省。官庁エンジニアとして観光庁観光地域振興課長、群馬県庁県土整備部長等を歴任され、2013年11月から復興庁に勤務されています。これまで、

- ・道路事業における費用対効果分析手法の導入
 - ・道路事業におけるパブリックインボルブメント手法開発と活用
 - ・道路公団民営化における高速道路整備・維持管理制度の開発導入
 - ・公共事業の入札契約手法の改良
(施工体制評価臥型総合評価方式の開発)
- 等さまざまな業務を担当されてこられました。

